



核兵器も戦争もない世界を！ 宣伝して元気に！

核兵器廃絶をめざす新署名のとりくみが広がっています。「総会や大会、委員会の後などに宣伝を行いましょう！」の総会決定を受けて、各地から宣伝の報告が届きましたので、お知らせします。どの宣伝行動も元気いっぱい、笑顔いっぱいのところがいいですね！宣伝行動をしたところ、これからするところ、新署名に限りませんので、できれば写真をそえてお知らせください。

【毎月の6・9行動を重ねています 京教組】

京都では、毎月の6・9行動を清水寺で行っています。核兵器廃絶の新署名には、3月6日からとりくみました。6月9日までに新署名が、1482筆集まっています。退職教職員や被爆者団体、原水協、宗平協（京都宗教者平和協議会）、新婦人などの団体も参加



みんなで記念撮影！

してくださっています。4月からは、福島第1原発事故の影響で海外からの観光客が激減しています。また、原発関連の質問をされたりもしました。修学旅行生がビラを熱心に読んで友達を誘って署名してくれたり、台湾のお父さんが、自分が署名した後、息子さんをわざわざ連れてきて署名するようにいってくれたりする場面もありました。署名をしてくださった方に渡している「羽ばたく鶴」は好評で、以前、受け取ったという広島市役所の方から、取材をしたいという電話をもらいました。（京教組 堀 照美）



対話がはずむ・・・

【女性部大会終了後2教組で力を合わせて 埼教組・埼高教】



5月14日、埼教組大会終了後、埼教組から14名、埼高教から2名が参加して恒例の駅頭宣伝を行い、「教え子を戦場に送るな」という平和への思いを訴えました。土曜日だったため、お子さん連れのかたも多く、若い人たちが署名に応じてくれました。9条ティッシュを800手渡し、核兵器廃絶新署名24筆、9条署名22筆が集まりました。（埼教組：高田美恵子）



やっぱり記念撮影

【第64回女性部大会と駅頭宣伝どちらも がんばりました！ 都教組】

新学期が始まって、2か月。そろそろ疲れの出るころ、6月4日、各支部の代議員94名傍聴14名に集まっておき、大会を成立させることができました。

今年の大会は、震災後3カ月ということで、震災時に幼稚園・学校がどんなようすであったか、その後子どもたちへのケアがどのように行われたかが話題となりました。震災当日避難所になった学校、卒業旅行に行っていた子どもたちの帰宅が深夜になったり、近くの学校に避難して一夜を過ごしたことなど、東京でも被害がありました。東京湾に面している区では、液状化現象もあり、まだまだ元通りにはなっていません。放射能の



都教組女性部大会



心配がどんどん強くなり、ようやく区市町村単位でも放射能の測定がおこなわれるようになりましたが、保護者からは、連日問い合わせがあります。安全安心の学校にするためにわたしたちにできることは何か。行政に何を要請したらよいか。考えました。また、今回の震災で学校は地域の要であることが確信となりました。安易な統廃合にも反対しなければなりません。

討論では、小学校1年生の35人学級実施が遅れて5月になったことに伴う混乱も出されました。期限付き採用教員が来たけど、TTにしている学校。クラスわけをして、落ち着いた学校。どちらも4月に実施していれば、なかった混乱です。今年は全専門部から発言がありました。(25人と三宅島のメッセージ) たくさんの発言を聞いて元気をもらうことができました。毎年

好評の昼休みコンサート。今年はバイオリンとアコーディオンの二重奏でした。「ほっと」一息ついて疲れが吹き飛びました。

大会のあと、市ヶ谷駅頭で宣伝行動を行いました。参加20人、福島出身の組合員から原発被害の早期終息と即時撤去を、の訴えがありました。また30人学級の早期実現の訴えをしてえがお署名を集めました。(都教組：平松裕美)

【震災後の学校の様子を交流

宮城高教組第55回女性部総会】



新体制でスタート

宮城高教組女性部は、6月11日に第55回女性部総会を開催しました。総会には、東日本大震災で被災した学校からも参加者があり、その後の学校の様子が交流されました。

石巻水産高校では、生徒4名がなくなり2名が行方不明になっています。水産高校の建物は無事でしたが、毎日冠水する状態が続いています。土台は、塩害でさびついているそうです。現在石巻北高校のプレハブに間借りしていますが、石巻北高校の体育館も避難所になっています。水産実習の時だけバスで水産高校に戻ってきますが、結局は片づけをしているのが実情です。こうした中、管理職のパワハラ問題に対応する中で、複数の組合員が加入しました。プレハブ校舎での学習がいつまで続くのか、水産高校の存続そのものも問題になっています。現在

水産高校で学んでいる生徒に、水産の力をつけさせて卒業させたいとのあつい思いが語られました。

石巻市立女子商業高校では、5名の生徒が亡くなりました。司書として臨時で来ていた方がまだ見つかっていません。また、お母さんを亡くした生徒もいるそうです。5月2週目から1, 2年生の授業が、3週目から3年生の授業が別々の学校に分かれて開始しました。しかし、教室数の関係があり、クラス数を減らしての授業開始となったので、1クラス47名という状態です。大潮の時には、冠水してしまい、間借り先の高校に通えない生徒も出ています。また、JR再開の見通しが立たないのでスクールバスを運行しています。選択科目実施のための教室が確保できないなどの問題も起きました。石巻市が広域合併していなければ、もっと対応がスムーズにすすんだのに残念だ、との発言がありました。そんな中でもシャープペンシルや消しゴムなど文房具を全生徒分、組合の物資から配布することができたそうです。

「教え子を再び戦場に送るな」の横断幕や花が飾られる温かい雰囲気の中、新しい役員が選出されました。また、午後は、女性部と中央委員会の合同で原発問題での学習会が開かれました。(文責・全教：小畑雅子)



受け継がれる思い

核兵器廃絶運動の原点、日本母親大会が広島で開かれます。 6月23日に

準備のための実行委員会が開かれました。高知からは、すでに400人を超える参加組織をかちとった、山梨からは、山梨高教組の奮闘で目標を超えとりくみがすすんでいる、などの交流がされました。いよいよあと1カ月です。地元全教広島も、連日奮闘しています。中国・四国・九州ブロックのみなさんを中心に、最後まで参加の組織をよろしく願います。なお、全体会会場で、下記の通り教育全国署名の宣伝行動を行います。各組織に送った発信文書から、時間に変更になりました。下記に時間での集合をよろしく願います。

署名行動日時：7月30日(土) 11:15~11:45 全体会の受付時間中に宣伝します。

集合場所：広島県立総合体育館1階 受付入口 全教女性部の旗のところに集まってください。

署名の内容：教育全国署名 本部でも用意しますが、各地域のものを積極的にお持ちください。